

## 会議録

会議の名称	令和5年度第6回新城市若者議会 中間報告
開催日時	令和5年8月21日（月）午後7時から午後9時まで
開催場所	新城市役所4階会議室
会議の内容	令和5年度第6回新城市若者議会 ・政策中間報告 ・委員会での話し合い

### 1 政策中間報告

各委員会から現状検討をしている政策についての報告が行われた。報告された内容は以下のとおりである。

若者議会委員会	<p>若者議会を経験した人に身近なまちづくりに気づいてもらうことで、若者が自発的に挑戦できるまちを目指し、2つの観点から政策を検討していく。</p> <p>①若者議会の委員と市外委員をターゲットとし、様々なまちづくりの手段がある中で自分たちにもできる身近なまちづくりもあるということに気づいてもらえるような運営方法を若者議会に組み込む。</p> <p>現段階では、新城市内のイベントに若者議会がボランティアに行ってみるなどの案が出ている。</p> <p>②まちづくりの身近さをより多くの若者に感じてもらうため、若者議会に初めて参加する人を増やす。</p> <p>小さい頃から若者議会に興味を持ってもらい、将来的に若者議会に入ってもらいたいという思いから、ターゲットは市内の小中学生とする。</p> <p>ワークショップを開催する、つながる地域と若者の輪をアップグレードするなどの案が出ている。</p>
農業委員会	<p>農業は価格に左右されやすく経営が大変、農業従事者の減少や高齢化により技術が継承できない、管理されない農地の増加による獣害や景観悪化などが課題となっている。新城市にはトマト、菌床しいたけ、八名丸さといもなどの魅力的な特産品やミネアサヒ、鳳来牛など全国的に評価されている特産品があるが、地元の人も知らないと思う。</p> <p>将来的には新城市の農業が守られることで「住み続け</p>

	<p>られるまち」にするため、まずは「おいしいであふれるまち新城」を目指し、「知られていない」という課題をクリアし、知ってもらい、買ってもらい、食べてもらえるような政策を提案する。</p> <p>現段階では、既存のイベントと農家のマッチング、お弁当コンテスト、キャンプに来た人に特産品を含むセット商品を販売するなどの案が出ている。</p>
まちづくり委員会	<p>新城市では、少子高齢化が進み、子どもや若者が減少している。若者や子どもが活気づいているまちにするには、若者や子どもが集まる場所があり、盛んに交流する機会を増やすことが必要だと考える。</p> <p>若者や子どもが活き活きしているまちを目指し、市内の施設をより充実させた空間に整備することで、若い世代の交流の増加や違う世代との交流にも繋がる。また、学びの場にもなるような政策を考え、子どもたちが様々なことを学べる機会を増やす。若者や子どもが集まれる場所があれば、若者や子育て世代の交流・定住のきっかけにでき、出生率や市にくる人の増加に繋がる。</p> <p>ターゲットは市内の若者、子どもとし、若者向けの政策として、まちなみ情報センター1階のフリースペースを若者が交流しやすいような空間にリノベーションすること、子ども向けの政策として、児童館のエア遊具、工作体験エリア、木育空間などを整備する案が出ている。</p>

## 2 委員会での話し合い

各委員会で政策検討を行った。以下は、政策検討の後に各委員会から共有された内容である。

若者議会委員会	<p>改めて「身近なまちづくり」とは何か、共通認識を持つために話し合った。</p> <p>自分1人でできる清掃活動やPR活動、既存のイベント等に自分から参加するもの、他の人との協力で成り立つものなどにグループ分けし、難易度別にも分類した。</p> <p>分類したことで再確認できた「身近なまちづくり」に気づいてもらえるような政策を今後検討していく。</p>
農業委員会	<p>農業課と企画調整課の方に話を伺い、以下のとおりいくつか気になった点があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新城市に農業で移住してくる人たちは、農業だけでなく、プラス何かしらの理由があって移住してくる。例えば旅行好きな方で、東北に住むよりも大阪方面に行きやすいため新城市に移住してきたという人もいる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は農地を借りる条件が厳しかったが、今は以前よりも借りやすくなった。</li> <li>・新都市を選んだ人には、就農した後のサポートが充実していることから移住した人が多い。</li> <li>・市は新規就農者を毎年3人ほど受け入れている。</li> </ul>
まちづくり委員会	<p>まちなみ情報センターのリノベーションに関する政策については、備品を設置する場所を話し合ったり、実際にカタログを見ながらどんなイメージなのか共有し合ったりした。例えば、1人用の机には仕切りを設置して区切ったり、小上がりの部分は畳にしたりするのが良いのではないかと話し合った。</p> <p>子ども向けの政策については、先日児童館の視察に行ったがお互いの意見のすり合わせが難しく、他の場所での政策も検討してみることにした。ドリームサロンを子どもたちが本を読むことに集中できるようなスペースにする、西部公民館の一部のスペースを活用できるかなどのお話合いをした。</p>

終了時間：午後9時